

# 教員免許状更新講習

～新学習指導要領に基づいた体験活動のあり方～

## 実施報告書

今年3月に受付を開始した本講習もあっという間に本番を迎えました。群馬をはじめ、栃木、埼玉の先生方40名が参加され、実りある充実した更新講習のなかにもわきあいあいとした心地よい雰囲気の3日間となりました。その様子を報告いたします。

### 8月3日(水)1日目



9時 受付  
皆さん早めにご集まってくださいました



開講式 所長挨拶  
朝からとても盛り上がり、良い雰囲気で始まりました

### 午前 学習指導要領と体験活動



東京学芸大学 准教授 林 尚示先生  
「宿泊体験活動は、理科の自然観察や家庭科の野外炊事など、教科の内容に関わる活動が含まれる場合は、教科の学習として位置づけることが可能であり、その場合は指導計画において教科の学習として体験活動のねらいを明確にすること」など、指導要領における体験活動のとらえ方を講義いただきました。

### 午後 体験活動の教育的意義と支援の方法



社会教育実践研究センター長 服部英二先生  
青少年がどのように変容してきて、なぜ体験活動が必要なのか。青少年教育施設の存在理由、体験活動の類型、学校教育と体験活動の特性の違いなどなど、豊富な資料で講義いただきました。参加者からは「来て良かった」…とのつぶやきが聞こえるほどでした。

夜 ながみの間で会食…違う県、違う校種の先生方とも遅くまで熱心に語り合い、ネットワークを広げることができたようです。

## 8月4日(木) 2日目

午前

### 体験活動と指導法

### 状況更新講習



トヨタ白川郷自然学校長 西田 真哉先生  
そもそも体験活動ってなんだろうという噛み砕いた内容から、具体的な体験活動の事例をたくさんご紹介いただきました。パワフルな講義は2時間半では足りないくらいでした。



教室内でできる体験活動の実習



ネイチャーゲーム「色あわせ」



提示したものと同じ自然物を探してくるマッチング

### 2泊3日の林間学校を立案 ～野外炊事～

午前～午後



野外炊事の方法や安全管理について



「楽しいっ！」連発！！

国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職 廣澤 晋吾

野外炊事は、料理の技術が身につくだけでなく、様々な気づきを促し、協力してできあがったものを一緒に食べる喜びを味わうなど、多様な体験ができるプログラムです。廣澤から方法と安全管理について講義があり、そのあと校種ごとにグループになって実際にカレーを作って食べました。

## 2泊3日の林間学校を立案 ～仲間づくりの体験活動～

午後



仲間づくりの体験活動の理論や手法



3班に分かれての体験活動



早速効果が現れてきたようです

講義・指導 企画指導専門職

AAPは本所がおすすめする体験活動の一つです。楽しみながら、課題を解決する喜びや達成感を味わい、信頼関係を築いたり協力の仕方を学んだりできるプログラムです。15名以下を1グループとして、講師を依頼していただきます。林間学校から企業の職員研修など、様々なグループに対応できます。

## 2泊3日の林間学校を立案 ～キャンプファイア～

夜



キャンプファイターのレクチャー



薪の組み方実習



楽しいレクの紹介

群馬県キャンプ協会理事長 小野里 清治先生  
まずは、キャンプファイターの歴史や種類、意義などの基本的な内容を講義いただきました。時間の都合で実際のキャンプファイターはできないため、薪の組み方や儀式のありかた、レクの紹介などをしていただきました。ハラハラドキドキのレクでした。

## 8月5日(金) 3日目

朝のつどい 7:10～



代表挨拶はいつもこの方…



これほどラジオ体操が上手な団体はありません

「つどい」の教育的意義を確かめていただくために、ほとんどの朝のつどいと夕べのつどいに参加していただきました。この日は天候の関係で体育館にて実施しました。こうした公共の場では、学校のカラーや雰囲気などを客観的に見ることができ、大切な評価や指導の場ともなると同時に、司会や旗係・団体代表挨拶など、教育的配慮によって子どもを伸ばせる場でもあります。是非とも有効に活用していただきたいと思います。

午前

### 2泊3日の林間学校を立案 ～その他の活動と立案～



オリエンテーリング、グリーンアドベンチャーなどの体験



ツリーイングの見学



カップの体験



自校の2泊3日プログラム立案

野外炊事やA A Pなどの主なプログラムは全員で体験していただきましたので、自校のプログラムを立案する前に様々な体験活動を概観していただきました。一部の方に体験していただいたり見学だけだったりで詳細がわからないというご意見もいただきました。次年度への反省として引き継ぎたいと思います。プログラム立案では、ご自分のパソコンをお持ち込みいただき短い時間で作成していただきました。完成したものは本所Webページ「おすすめ」の欄からご覧いただくことができます。今年度からほとんどの学校が2泊3日以上で宿泊体験学習を実施されています。プログラムを立てる際の参考にしていただきたいと思います。同時に、作成された先生方は自校の既存のプログラムを評価する目が養われたといえます。是非ともここで得たものを自校の子ども達に還元していただければ幸いです。

午後



履修認定試験



閉講式 所長あいさつ



修了証授与

履修認定試験では、大学時代のように久しぶりに試験勉強をしてちょっと緊張もしたという意見や、大学時代に戻ったようで懐かしかったという声を聞きました。たいへんお疲れ様でした。所長挨拶でのお互いの肩たたきで少し肩こりがほぐれ、笑顔も見られました。修了証の授与は、参加者全員に承認され、つどいの挨拶担当の方に決まりました。

3日間連続の講習にみなさん疲れた様子でしたが、真剣に受講されるなかにも笑顔や会話の絶えない講習でした。履修認定試験にも全員合格し、先日履修証明書を全員に発送しました。ご多忙中にもかかわらず、素晴らしい講義をしてくださった講師の先生方にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本講習は今年度3月22日9時に受付を開始し、9時30分には満定員。10時には定員の1.5倍の申込みをいただき受付を締め切りました。おかげさまでたいへんな想いをされてお申し込みいただいた先生方の意気込みや意識の高さによって充実した素晴らしい講習になりました。逆に、お断りをした先生方にはたいへん申し訳なく思います。来年度はなるべくたくさんの希望される先生方を受け入れられるよう工夫したいと考えています。

(担当 山崎)